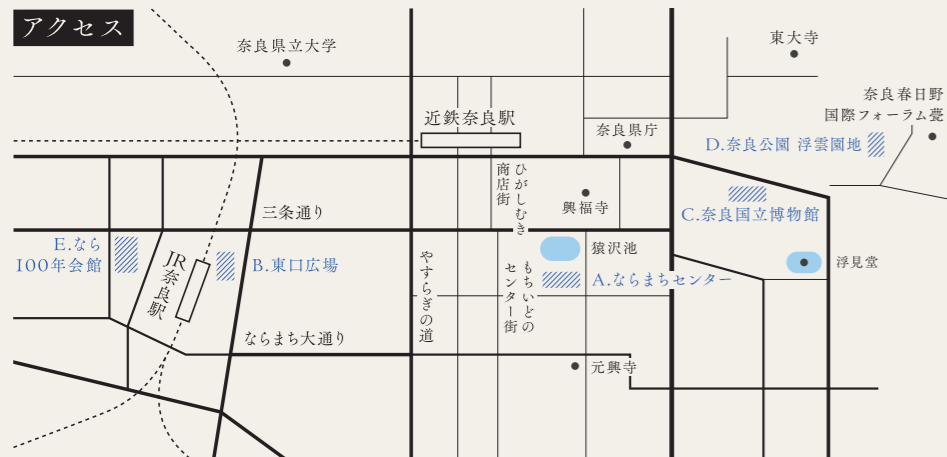


プログラム一覧・スケジュール

	PROGRAM 1 グリーン・マウンテン・カレッジ	PROGRAM 2 チェ・ジョンファ 「花の舍利塔 Blooming Matrix」	PROGRAM 3 青少年と創る演劇「ならのはこぶね」
2018年 10月	<ul style="list-style-type: none"> 10月13日(土) 17時-20時 [会場A] 火床を創る 小山田徹 10月21日(日) 17時-20時 [会場B] 男女と色恋 山田創平×あかたちこ×小山田徹 		
2018年 11月	<ul style="list-style-type: none"> 11月17日(土) 17時-20時 [会場C] 大きな食卓 チェ・ジョンファ×小山田徹 	<ul style="list-style-type: none"> 11月17日(土) 14時-16時 [会場C] ワークショップ 11月17日(土)-18日(日) [会場C] 11月20日(火)-29日(木) [会場E] 展示 	
2018年 12月	<ul style="list-style-type: none"> 12月1日(土) 17時-20時 [会場A] 私はどこにいるの? 地上編 佐藤知久×小山田徹 12月16日(日) 17時-20時 [会場D] 私はどこにいるの? 天空編 磯部洋明×松井紫朗×小山田徹 		<ul style="list-style-type: none"> 12月23日(日・祝) 14時開演 [会場A] 青少年と創る演劇「ならのはこぶね」
2019年 1月	<ul style="list-style-type: none"> 1月14日(月・祝) 17時-20時 [会場F] 繕う 小山田美穂子×西尾美也×小山田徹 		
2019年 2月	<ul style="list-style-type: none"> 2月2日(土) 17時-20時 [会場A] 耳を澄ます sonihouse×小山田徹 		

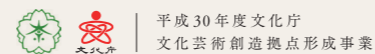


[会場]

- A.ならまちセンター
奈良市東寺林町38
- B. JR奈良駅東口広場
奈良市三条本町1
- C. 奈良国立博物館
奈良市登大路町50
- D. 奈良公園 浮雲園地
奈良市春日野町23-2
- E. なら100年会館 2階正面バルコニー
奈良市三条宮前町7-1
- F. 鳥見「ふらっと」まんま
奈良市三碓町2204 *近鉄富雄駅より、奈良交通バス3番のりば「富雄園地循環ゆき」乗車、「ショッピングセンター前」下車、徒歩3分

Facebook: www.facebook.com/naracityart/
Twitter: @naracity_art
Instagram: @naracity_art

主催: 奈良市アートプロジェクト実行委員会、奈良市
後援: 奈良県、奈良県立大学
協力: 奈良国立博物館、青年団、田上バル



お問い合わせ

奈良市アートプロジェクト実行委員会事務局 (奈良市役所 文化振興課内)
〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1-1
TEL: 0742-34-4942 / FAX: 0742-34-4728 / E-mail: art@city.nara.lg.jp

奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良」公式ウェブサイト <https://kotohogunara.jp/>

古都祝奈良 2018-2019 プログラムディレクター

美術部門



西尾美也
Yoshinari Nishio

1982年奈良県生まれ、同在住。美術家・奈良県立大学地域創造学部准教授。2011年東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。装いの行為とコミュニケーションの関係性に着目し、市民や学生との協働によるプロジェクトを国内外で展開している。2009年以降、西尾工作所ナイロビ支部をはじめ、アフリカと日本をつなぐアートプロジェクトを企画・運営している。現代美術家として探究してきた装いに対する考察をもとに、2011年にはファッションブランドFORM ON WORDSを、2018年にはNISHINARI YOSHIOを設立。

演劇部門



田上 豊
Yutaka Tanoue

劇作家・演出家・田上バル主宰。1983年熊本県生まれ。桜美林大学文学部総合文化学科卒業。2006年、劇団「田上バル」を結成。方言を多用し、疾風怒濤のテンポと、遊び心満載の演出は「体育会系演劇」とも評される。大学在学中にワークショップデザインを研究し、現在、教育現場を中心に、創作型、体験型のワークショップを全国各地で実施している。現在、富士見市民文化会館キラリふじみアソシエイトアーティスト、青年団演出部所属。

<http://tanouepa.com/>

古都祝奈良

奈良市アートプロジェクト

2018-2019

ことほぐなら

会場
奈良市内各所
2018年
10月
2019年
2月

NARA CITY ART PROJECT
KOTOHOGU NARA

PROGRAM 1: 対話型アートプログラム

グリーン・マウンテン・カレッジ

PROGRAM 2: 美術ワークショップ&展示

チェ・ジョンファ「花の舍利塔 Blooming Matrix」

PROGRAM 3: 演劇公演

青少年と創る演劇「ならのはこぶね」

<https://kotohogunara.jp/>

奈良市アートプロジェクトは、2016年の東アジア文化都市におけるアートプロジェクト「古都祝奈良（ことほぐなら）」の趣旨を受け継ぎ、美術や演劇などの現代の表現を通じて、奈良に集う国内外の人びとと奈良で生活する人びとが共に体験し作り上げるプロジェクトです。

2回目の開催となる今回は、さまざまなテーマのもと繰り広げられるオープンな学び合いの場「グリーン・マウンテン・カレッジ」を開校します。さらに、前回から継続して、韓国を拠点に国際的に活躍する現代アーティストのチェ・ジョンファによるワークショップと作品展示、中高生がプロの演出家とともに創り上げる演劇公演の、3つのプログラムを展開します。

そこに集うもの同士の出会い、作品を通して自分の思いや発見を語り合うこと、演劇の作品づくりのプロセスにおける話し合い。それらを通じて、古都奈良の新たな価値の創造につなげていくことをめざしています。



PROGRAM I：対話型アートプログラム

グリーン・マウンテン・カレッジ

「人々が出会い、語り合う」、そんな思考と創造のためのささやかな拠点が、奈良に生まれます。グリーン・マウンテン・カレッジは、対話型のアートプログラムとして、毎回テーマを変え各分野の専門家を招き、参加者と共に対話を繰り広げる「学び合いの場」です。「学び」とは、さまざまな事ごらをさまざまな方法で捉え、咀嚼して自らのものとし、それを未来の他者へと手渡していくこと。文化は、その学びの膨大な蓄積です。カレッジの象徴である「ティピーテント」のもとに集まった人々と小さな「火」を囲むひとときを過ごしてみませんか。出入りは自由、どなたでもご参加いただけますので、気軽にお立ち寄りください。



グリーン・マウンテン・カレッジ 校長プロフィール

小山田 徹 Toru Koyamada

1961年鹿児島県生まれ、京都府在住。美術家／京都市立芸術大学美術学部教授。1984年大学在学中に友人たちとパフォーマンスグループ「ダムタイプ」を結成。主に企画構成、舞台美術を担当し、国内外の数多くの公演に参加。1990年から、「ウィークエンドカフェ」や「Bazaar Cafe」など、さまざまな友人らと造形施工集団を作り共有空間の開発を行う。

一

火床を創る

小山田徹

カレッジ発案者であり校長の小山田徹は、焚き火を「世界最古で、世界最小の共有空間」と言います。第一回は、学び合いの場のスタートとして、小さな火を核にゆるやかに人が集い出会う場と時間をつくります。

日時：10月13日(土) 17時-20時
会場：ならまちセンター 芝生広場

二

男女と色恋

山田創平×あかたちかこ×小山田徹

そもそも「男」と「女」とは何でしょう？ 都市社会学者の山田創平と、思春期保健相談士として性教育の現場に携わるあかたちかこを交え、男と女が内包するさまざまなトピックについて話し合います。

日時：10月21日(日) 17時-20時
会場：JR 奈良駅東口広場

三

大きな食卓

チェ・ジョンファ×小山田徹

食器や調理器具で作品「花の舍利塔 Blooming Matrix」を制作する美術家・チェ・ジョンファを囲んで、本校校長・小山田徹とともに、食という人間の豊かな営みについて皆で食事を楽しみながらお話しします。
*食事や飲み物は各自お持ち寄りください。

日時：11月17日(土) 17時-20時
会場：奈良国立博物館 新館西側広場

四

私はどこにいるの？ 地上編

佐藤知久×小山田徹

震災後の個々人の記録活動や、地球外空間での人間の活動などを研究する文化人類学者の佐藤知久と本校校長・小山田徹が、「わたし」とわたしがいる世界との関わりについて考えを巡らせ、星空の下、小さな火を囲みながら語り合います。

日時：12月1日(土) 17時-20時
会場：ならまちセンター 芝生広場

五

私はどこにいるの？ 天空編

磯部洋明×松井紫朗×小山田徹

人間の知覚を揺さぶる大規模な作品で知られる美術家・松井紫朗と、太陽の活動現象の研究や人文社会系との共同研究・企画に携わる宇宙物理学者・磯部洋明を交え、「わたし」の内と外にある宇宙について語り合います。

日時：12月16日(日) 17時-20時
会場：奈良公園 浮雲園地

六

繕う

小山田美穂子×西尾美也×小山田徹

家庭洋裁を次世代へ伝えるための教室やワークショップを行う洋裁師・小山田美穂子と美術家・西尾美也をゲストに迎え、集まった皆で手縫いをしながら、思い思いのおしゃべりを紡ぎます。

日時：1月14日(月・祝) 17時-20時
会場：鳥見「ふらっと」まんま

七

耳を澄ます

sonihouse×小山田徹

ゲストは、奈良を拠点に12面体スピーカーなどオリジナルオーダースピーカーの設計・製作を手がけるsonihouseの鶴林万平、長谷川アンナ。自然の音に耳を澄ませながら、音と空間と人間の豊かな循環について語り合います。

日時：2月2日(土) 17時-20時
会場：ならまちセンター 芝生広場

PROGRAM 2：美術ワークショップ&展示

チェ・ジョンファ

「花の舍利塔 Blooming Matrix」



チェ・ジョンファ「花 Welcome」
展示風景(古都祝奈良2017-2018)
Photo by Hideaki Hamada

今回のワークショップでは、参加者が新旧の食器や調理道具、食卓などを積み重ねて、複数の塔を制作します。食べることは昔も今も変わらずに人間が続けてきた基本的な営みです。そのために人間が生み出してきたさまざまな道具を、チェ・ジョンファは「枯れない花」だと言います。それらの「花」が積み重なって咲き誇る塔＝マトリックス(ものごとの基盤)は、過去と現在、未来をつなぐハーモニーを生じさせ、いまの生活について見つめ直す時空間へと私たちを誘います。国際的なアーティスト、チェ・ジョンファとともに身近な素材でアート作品を作ってみませんか。

ワークショップ

2018年11月17日(土) 14時-16時

参加無料/入退場自由

会場 | 奈良国立博物館 新館前北側通路 ※13時30分受付開始

参加申込

当日会場にて参加受付。公式ウェブサイト内申し込みフォームから事前申込可能。

展示

観覧無料

2018年11月17日(土)-18日(日) 会場 | 奈良国立博物館 新館前北側通路

2018年11月20日(火)-29日(木) 会場 | なら100年会館 2階正面バルコニー

※展示は外からいつでもご覧いただけます。ただし、11/17は16時以降、11/18は17時まで。

PROGRAM 3：演劇公演

青少年と創る演劇

「ならのはこぶね」



次代を担う若者が創作の過程を演劇のプロとともに経験することで、創造する喜びを体感し、ふるさと・奈良を自分の言葉で語るができる人材育成をめざす「青少年と創る演劇」。オーディションで選ばれた中高生の個性を活かした新しい脚本・演出によるオリジナル演劇「ならのはこぶね」を上演します。

作・演出 田上豊

公演情報

2018年12月23日(日・祝)

入場無料/要申込/全席自由

14時開演 ※受付開始13時/開場13時30分(上演時間80分予定)

会場 | ならまちセンター 市民ホール

観覧申込

はがき、FAXに「ならのはこぶね申込」、希望者数、住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、12月10日(月)までに裏面記載の事務局宛先へ。公式ウェブサイト内申し込みフォームからも申込可能。後日入場はがきを郵送します。残席に余裕があれば当日券を会場にて発行します。



韓国国立現代美術館ソウル館でのワークショップの様子



古都祝奈良2017-2018でのワークショップの様子



作家プロフィール

チェ・ジョンファ Choi Jeong Hwa

1961年韓国ソウル生まれ、同在住。ヴェネチア・ビエンナーレ2005では韓国館の代表に選ばれたほか、リパブルやシドニー、台北、リヨンなど世界中の芸術祭に参加している。また、平昌2018パラリンピック冬季競技大会では、開会式・閉会式のアートディレクターを務めるなど活躍の幅を広げている。近年の主な展覧会に、さいたまトリエンナーレ(2016)、ノルブル・ビエンナーレ(2017)、東アジア文化都市2017京都「アジア回廊 現代美術展」(2017)などがある。「古都祝奈良2017-2018」では「花 Welcome」と題した作品を市内5ヶ所で展開。

あらすじ ときは、現代。学校で奈良(平城)時代の考察、再発見を促された高校生。教科書を地図代わりに読み進めていくも、歴史に余白が多く実感に辿り着けない。劇化し発表することを指示された今、実感なしでは作品なんか無理!と大混乱。学年発表はもう近い!となりのクラス「平安時代」は豪華絢爛。焦りに焦る「平城」クラス。よりによってキーパーソンの鑑真役はずっと学校来てないし、クラスの仲も良くないし、どうなっちゃうの、私たち。歴史の海に漂い、小舟で浮かぶ高校生達。私たちは、遣唐使。時代をまたぐ遣唐使。きっと戻ってきてみせる。高校生達の歴史の冒険が、航海が、今始まる。